

かさかけ 公民館だより

編集
笠懸公民館編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発行
みどり市笠懸公民館

〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電話：0277-76-2211
FAX：0277-76-2836
Eメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

公民館がつなぐ詩画の世界

今年
は公民館で

公募展

「第13回富弘美術館詩画の公募展」が、1月23日(金)

から2月22日(日)まで、笠懸公民館ふるさとギャラリー・ロビーで開催されました。例年は富弘美術館で実施されていますが、今回は美術館の改修工事に伴い、



▲詩画公募展会場で、言葉と絵の融合を語る聖生館長

会場を笠懸公民館に移しての開催です。

この公募展は、絵と言葉(詩文)を一つの画面に収め、絵が言葉を生かし、言葉が絵を生かす「詩画」という表現を広く普及させることを目的としています。今年度は、一般の部に734点、みどり市小中学生の部に706点、合計1440点もの応募が寄せられました。年齢や経歴を問わず、

多くの人が自らの体験や思いを詩画として表現しています。

会場には、一般の部・みどり市小中学生の部あわせて入賞者18人・入選者74人の作品に加え、みどり市小中学生の部に応募した全作品も展示。2月7日(土)には、表彰式が開催されるなど、多くの人が足を運び、詩画の新たな魅力に触れる機会となりました。

詩画の魅力 知ろう・学ぼう

笠懸公民館主催講座「富弘美術館を知ろう」が1月24日(土)に開催されました。会場は同館ふるさとギャラリー。詩画公募展の作品が並ぶ中、全3回の初回は富弘美術館館長の聖生清重さんを講師に迎え、詩画の魅力と公募展への思いを語りました。(参加者は20人)

聖生館長は、詩画を「ポエムを立体的にしたもの」と説明。特に日本では平安時代から絵と文字を融合さ

せた文化が親しまれ、詩画はその伝統を受け継ぎつつ、新たな表現方法として広がっていると述べました。

講座では、星野富弘さんの作品がどのように生まれ、たかにも触れました。事故で手足の機能を失った後、口で絵を描き始めた富弘さんの作品は、日常の出来事を短い言葉と簡潔な絵で表現し、見る人々に強い印象を与えます。富弘さんの作品が示す「言葉と絵の融合」を通じて、言葉の力を再認識させられると聖生館長は語り、第1講は終了しました。

季節の行事を楽しむキッズ

冬のベビーキッズクラブは、たこ作りや豆まきなど、季節を感じる行事がいっぱい。親子で協力しながら、楽しく学び合う時間となりました。

みんな元気に 新年スタート

今年最初の活動を1月17日(土)に笠懸公民館で行いました。まず、みんなで「明けましておめでとうございませう！」と元気に新年のあいさつをしました。おせち



▲冬空の下、元気いっぱいたこ揚げ

料理やお年玉の話題に触れながら、名前を呼ばれた子は大きな声で「はい！」と返事をし、会場はとても和やかな雰囲気でした。その後はみんなで歌を歌い、ビニール袋でたこ作りを行いました。子どもたちは配られたビニール袋に描かれたキャラクターにクレヨンで思い思いの色を塗り、世界に一つだけのたこを完成させました。また、年齢別に分かれたカルタ取りも行われ、高学年の子どもたちは英語で絵かるたに挑戦するなど、一生懸命に取り組んでいました。最後は屋外でたこ揚げを行いました。子どもたちの元気な声が響く、笑顔あふれるひとときとなりました。

かわいい鬼が大集合

1月31日(土)は節分と豆まきです。笠懸公民館を会場に、6組15人の親子が参加しました。

最初に「鬼は外、福は内」と声を出す練習をしながら、節分の意味や由来を根岸先生が話しました。悪いものを追い払うといわれているイワシやヒイラギについても説明。子どもたちは興味を持って聞いていました。



▲オニのお面できるかな？

豆を入れる箱を作り、鬼のお面作りにもチャレンジしました。色や表情がそれぞれ違う、かわいらしい鬼のお面がたくさんできあがりました。

り、みんな楽しそうに見せ合っていました。「鬼のパンツ」の歌を元気よく歌うと、会場はとてもにぎやかになりました。

後半は、公民館東側の芝生広場に集まり、豆まきです。豆の代わりに新聞紙を丸めた玉を使い、鬼が出てくるのをワクワクしながら待ちました。鬼が現れると、元気に玉を投げる子もいれば、少し怖くて泣いてしま



▲ちよっぴりドキドキ📷

う子もいましたが、保護者が見守る中、みんな最後までがんばりました。

参加無料！ 令和7年度みどり市公民館大会

住んでよかった 出会えてよかった 地域をむすぶ、人をむすぶ公民館

今年は、東地域で活動するグループに注目し、公民館の大切な機能である「むすぶ」について、一緒に考えましょう。

日時 **3月15日(日)**
午後1時20分～4時30分
(午後1時受付開始)

場所 **みどり市東公民館**
(みどり市東支所3階) みどり市東町花輪205-2

■活動発表 **エンジェルベル・泉の会・大畑しだれ桃の会**

■講演 **日本女子大学 准教授 荻野 亮吾 さん**

お申込・お問合せ ※窓口・電話は、休館日(月曜日)を除く午前9時から午後5時まで

笠懸公民館 電話:76-2211 FAX:76-2836

大間々公民館 電話:76-2310 FAX:72-4312

東公民館 電話:97-2721 FAX:97-2424

メール kouminkan@city.midori.gunma.jp

※FAX・メールの場合は、住所・氏名・電話番号をお知らせください。

電子申込URL <https://logoform.jp/f/Pe8VF>

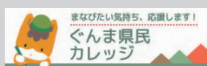


メールQRコード



電子申込QRコード

主催：みどり市公民館大会実行委員会・笠懸公民館・大間々公民館・東公民館



公民館活動に関心があれば
どなたでも参加可能です！

ピアノの声を 整えろ

笠懸公民館で「ホントは楽しい音楽・ピアノ調律なるほど体験会」が1月24日(土)に開催されました。中学生4人と保護者3人が参加講師には調律師の竹澤孝さんと、主にヨーロッパで活動しているピアニストの伊舟城歩生(いぼらぎあゆむ)さんを迎え、ピアノの歴史や仕組みについて学びました。

竹澤さんは、音が生まれる仕組みやピアノがどのように現在の形に発展したのかを解説。専門的な内容も分かりやすく伝え、参加者は興味深く耳を傾けていました。

続いて、実際の調律作業を体験。音が変化していく



▲音づくりの舞台裏を実践



▲曲を解説する伊舟城さん

様子を間近で感じ、「音がどんどんきれいになっていくのが分かった」「自分で調律してみても難しかった」といった声が聞かれました。最後は伊舟城さんによるサロンコンサート。時代ごとの曲の特徴やペダルの使い方や時代背景によつて音や表現が大きく変わることを紹介しました。「同じピアノでも弾き方や時代でこんなに違うのかと驚いた」「生演奏が聴けて感動した」といった感想もあり、参加者にとつて心に残るひとときとなりました。

知識だけでなく、実際に見て、触れて、聴いて学ぶことで、音楽やピアノをより身近に感じる貴重な体験でした。

いこいの 舞台を熱演

笠懸公民館利用者の会が、公民館と共催で行っているロビー活用行事「いこいの広場」は、133回を迎えました。今回は、結成20周年の「千紫万紅」によるダンスパフォーマンスを中心に、「スポーツクラブくれよん」と「RIECO DANCE」が賛助出演。かわるがわるダイナミックなパフォーマンスを見せてくれました。千紫万紅は、いこいの広

場への出演は8年ぶりでしたが、普段は県内外のイベントに多数出演、よさこいダンスを披露している元気なグループ。大きな布や旗を振りながらロビーいっぱい使って踊る姿が特徴です。黄色いおそろいのTシャツが印象的なスポーツクラブくれよんは、千紫万紅と共演することが多いそうです。合同でのパフォーマンスも見られました。RIECO DANCEは、普段はみどり市民体育館で活動しているズンバのグループで、笠懸公民館も気に入ってくれたようです。



▲よさこいダンスに魅了

最後は「カリスマックス」の楽曲に合わせたパラパラで、客席を巻き込んで大盛り上がり。2階ロビーでも一緒に踊っている人がいました。

防災を考える 62

災害時の連絡法

3月には、「防災用品点検の日」(1日)と「防災意識を育てる日」(11日)という、防災について考える大切な日が2日あります。また、3月は東日本大震災が起きた月でもあり、防災に関するニュースも多くなります。

みなさんは「災害用伝言ダイヤル17171」を知っていますか？これは、災害が起きたときに家族や知人と連絡を取るための電話サービスです。使い方を家族で確認しておくとう安心ですね。

このサービスは、毎月1日と15日、そしてお正月三日や防災週間(8月30日〜9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日〜1月21日)にも体験できま

す。また、最近少なくなっている公衆電話ですが、お子さんに使い方を教えておくと、いざという時に役立ちます。

○公衆電話の使い方
最初に受話器を取り、お金を入れて番号を押し、通話後は受話器を戻します。110や119は無料でかけられます。

交流で広がる

公民館の輪

笠懸公民館利用者の会第10回理事会が、1月14日(水)に笠懸公民館で開催されました。

今回の協議事項は、昨年12月に実施した公民館大掃除と利用者懇談会についてです。これまでも利用者の会では「掃除が目的ではなく、交流が目的である」と利用者の皆さんに発信してきました。今回の大掃除を振り返り、その思いが少し



▲大掃除後に交流 (R7.12月)

ずつ伝わってきていると感じました。

利用者懇談会については、ロビーのソファで行ったのがアットホームな雰囲気です。評判が良かったようです。お茶を飲みながら進め、率

直に意見を出し合い、楽しく懇談することができました。こういうやり方もいいですね。

「いこいの広場」の日程を確認。次回は、4月19日(日)にサククス四重奏のコンサートが予定されています。また、理事会の役員不足への不安の声も上がりました。より良い公民館を皆の意見で作っていくためには、新たな理事の参加が必要です。関心のある人は、ぜひ笠懸公民館までご連絡ください。

熱戦

よもかるた

第66回笠懸町子ども会上毛かるた大会(主催・笠懸町子ども会育成会連合会)が、1月11日(日)に笠懸公民館で開催されました。

笠懸町第1区〜10区の代表が、小学生低学年(2〜4年生)、高学年(5・6年生)、中学生に分かれて対戦。読み手の声に集中して

札を追っていました。

勝ち抜いた上位選手は1月25日(日)に同会場で開催された第18回みどり市子ども会上毛かるた大会(主催・みどり市子ども会育成会連絡協議会)に出場。みどり市代表として県大会出場を目標に、日頃の練習の成果を出し切って頑張りました。県大会での活躍が楽しみです。

なお、上毛かるた「ち」の読み札「力合わせる19



▲ひと札でも多く!!

0万」は、初版発行時では160万でした。記者が子ども頃の頃は170万だったような!!

◆第66回笠懸町子ども会上毛かるた大会結果(1/11)

※敬称略

◎団体戦	優勝	準優勝	3位	◎個人戦	優勝	準優勝	3位
低学年A	笠懸9区	笠懸6区	笠懸4区	低学年A	登丸櫻子(笠懸6区)	中村銀寿(笠懸3区)	青木結芽(笠懸7区)
低学年B	笠懸6区	笠懸1区	笠懸2区	低学年B	新井枝穂(笠懸6区)	佐久間結望(笠懸9区)	木暮奏都(笠懸8区)
高学年A	笠懸6区	笠懸9区	笠懸4区	高学年A	田村かりん(笠懸6区)	木暮瑞葵(笠懸8区)	齋藤緩奈(笠懸3区)
高学年B	笠懸9区	笠懸4区	笠懸5区	高学年B	梅澤結華(笠懸2区)	菅野拳誠(笠懸6区)	高橋陽菜子(笠懸10区)
中学生	笠懸9区	笠懸7区	笠懸6区	中学生	神保いさ(笠懸6区)	菅野結奈(笠懸6区)	和田隼杜(笠懸9区)

◆第18回みどり市子ども会上毛かるた大会結果(1/25)

※敬称略

◎団体戦	優勝	準優勝	3位	◎個人戦	優勝	準優勝	3位
低学年	笠懸9区	笠懸6区	大間々10区	低学年	中村銀寿(笠懸3区)	新井枝穂(笠懸6区)	登丸櫻子(笠懸6区)
高学年	笠懸6区	笠懸9区A	笠懸9区B	高学年	田村かりん(笠懸6区)	梅澤結華(笠懸2区)	小林さい香(大間々10区)
中学生	笠懸9区	大間々1区	笠懸4区	中学生	神保いさ(笠懸6区)	和田隼杜(笠懸9区)	酒井美弥(笠懸2区)

※各部門の優勝が群馬県大会(2/15)に出場

二十歳の誓い 若者たちの夢輝く

「みどり市二十歳の集い〜式十祭〜」が1月11日(日)、笠懸野文化ホールで開催されました。この日は今季最強の寒波が到来し、冬の嵐が吹き荒れる中、406人の対象者が集いました。

会場には、華やかな振袖姿の参加者が彩りを添え、式典は順調に進行。「みどり市の歌」が歌い終わると

大きな拍手が起こりました。

須藤昭男市長は祝辞で「みどり市も今年で二十歳を迎え、皆さんと共に歩んできました」と述べました。恒例の恩師によるビデオレターでは、各学校の思い出やエピソードが語られました。

屋外では、みどり市マスコットキャラクター「みどモス」も登場。参加者は一緒に記念撮



▲式典後、みどモスと笑顔でパシャリ！

影をし、楽しんでいました。インタビューでは、救急救命士を目指して勉強中、医師や看護師、薬剤師を志しているなど、将来の目標を語る声が多く聞かれました。

それぞれの夢に向かって、これからも力強く歩んでいってほしいものですね。



▲新たな一歩、みんなで記念撮影！

コラム 豆電球

「昔の人はレストランを食べていた？」

フランス語では、「レストラン」という言葉は「力をつける」とか「気力を回復させる」という意味があるようだ。そして、昔のフランス人は、このレストランを食べて力をつけていた。つまり、「レストラン」とは、もともとは料理の名

前でもあったのである。その料理は、「ポ・ト・フ（フランスの伝統的な煮込み料理）」から作られるビーフブイヨンに似た濃厚なスープで、鶏肉や牛肉、大麦、ブドウなどを一緒に蒸したものだ。体力回復用のメニューだったため、18世紀半ばには、「レストラン（力をつける）」と呼ばれるようになったのだ。

時代で、「当店でレストラン（＝回復スープ）販売しています」という看板は、まさに時代を変える斬新なキャッチコピーだった。そして、18世紀末ごろ、このレストランを看板料理とする店が多数オープンし、大繁盛した。やがて、その料理店自体のことを「レストラン」と呼ぶようになり、しだいにすべての料理店を「レストラン」と呼ぶようになったのだ。

笠懸公民館主催
令和8・9年度 あなたの企画が地域を変える

市民講座運営委員募集！

みどり市市民講座を企画・運営しませんか？

◆募集要項◆

- 募集人員 20人
- 任期 令和8年4月1日～令和10年3月31日
- 応募資格 みどり市在住・在勤の方
- 応募方法 笠懸公民館へ申込。氏名、住所、電話番号をお知らせください。(電話・FAX・メール)
- 申込期限 3/22日まで
- その他 ※報酬はありません。

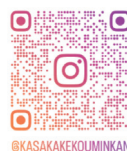
問合せ先 笠懸公民館
TEL: 0277-76-2211
FAX: 0277-76-2836
メール: koushinkan@city.midori.gunma.jp



メールQRコード

笠懸公民館 SNS 紹介

←Instagram
フォローしてね！



YouTube→
見てね！



お手持ちのスマホでご覧ください！！

みんなで祝う 婦人会新年会

笠懸町婦人会（曲澤節会長）の新年会が、1月24日（土）に笠懸公民館で行われました。

この日は、会員が協力して、朝から料理実習室で煮物や天ぷら、サラダなどを作りました。お昼までに準備が終わり、須藤昭男市長をはじめ、来賓のみなさんを迎えました。

市長のあいさつでは、笠懸町婦人会のますますの発展や、ボランティア活動を

がんばっている会員のみなさんへの励ましの言葉がありました。

乾杯後は、食事会です。テーブルに並んだ料理はどれも会員の手作り。みなさん美味しそうに食べていました。

余興の時間には、会員の高倉旗枝さんが日本舞踊を披露したり、みんなで八木節を踊ったりして、とても盛り上がりしました。

最後は景品付きのゲーム大会。輪投げとビンゴゲー



▲手料理おいしいね！

ムで会場は大賑わい。楽しい新年会になりました。景品を手にして帰る参加者の笑顔はとても幸せそうでした。

個性あふれる 写真の世界



写真クラブ「フोट銀河」の第26回写真展が1月9日（金）から11日（日）までの3日間、笠懸公民館ふるさとギャラリーで開かれました。

会場には7人の会員とゲスト5人の写真41点の力作が並びました。

季節の花々や紅葉、田ん



▲作品の魅力に思わず足を止めて

ぼに映る電車、祝福の結婚式、旅行先の景色、雲海、スイスの名峰などさまざまな写真が展示され、たくさんの方が見入っていました。

今回は特にテーマを設けず、自由な発想で撮られたとのこと。

臨場感あふれる、素晴らしい写真で見ごたえがありました。

令和8年度 笠懸地域文化祭

企画広報部員大募集!!

みんなで文化祭を盛り上げましょう!!

主な活動

- ◆ 文化祭全体の企画や運営
- ◆ 文化祭を盛り上げるイベントの企画
- ◆ 文化祭の宣伝
- ◆ 当日は文化祭スタッフとして、会場全体を盛り上げます!

【申込方法】

公民館窓口、電話、FAX、メールなどで、ご連絡ください

【応募資格】

みどり市在住・在勤・在学者または笠懸地域文化祭に関心がある方で、企画広報部会及び文化祭の運営スタッフとして参加できる方

【申込先・問合せ先】

笠懸公民館 電話：76-2211 FAX：76-2836
メール：kouminkan@city.midori.lg.jp



一緒に『かさかけ公民館だより』 を作りませんか？

笠懸公民館報編集協力員を 募集しています!!



かさかけ公民館だより
バックナンバー



デジタル版は
写真がカラーです



- ◆ 応募方法 笠懸公民館窓口または電話・FAX・メール
- ◆ 問合せ先 笠懸公民館
〒379-2311 みどり市笠懸町阿左美 1581-1
TEL：76-2211 FAX：76-2836
メール：kouminkan@city.midori.gunma.jp

投稿

列車にゆられて(78)
JR篠ノ井線

野利 哲

JR篠ノ井線の廃線歩きに出かけました。

篠ノ井線(塩尻〜篠ノ井間67.9km)は1902(明治35)年に全線開通。その後、地すべり対策などのため、74(昭和49)年に西条〜明科間の工事を経て、88(昭和63)年に新線が開通しました。これにより86年間、ヒトと荷物を運んできた旧線は幕を閉じました。その廃線跡約6kmを長野県安曇野市が整備し、トレッキングコースとしています。明科駅から篠ノ井方面に



▲漆久保トンネル

30分ほど歩くと潮神明宮で、ここから山懐に入ります。歩きやすい路盤跡でもななく三五山トンネル(全長125m)、明治時代の面影が感じられる総レンガ作りです。人感センサーがあり、近づくとトンネル内の照明が点きました。

三五山トンネルを抜け、左手に北アルプスの峰々、鉄道防備林として整備された線路跡に勾配標、距離標、踏切警報器、架線柱等の遺物を見ながら進みます。東平、けやきの森自然園を経て漆久保トンネル(全長53m)となります。

内部には蒸気機関車の煙の煤が残っており、こちらも歴史に息づくすてきな色合いのレンガ作りのトンネルでした。トンネル上部には細い山道(旧善光寺道)があり、路傍に立つ覚明様と普寛様の石像が旅人の安全を見守っていたようです。都会の喧騒から逃れ、往時を偲びながらの廃線歩きでした。



上毛かるた(5)

御朱印レディー

雷と空風義理人情

この札は、群馬の風土や県民性を象徴する札です。GHQ(連合国軍総司令部)の指令により読み札にできなかった小栗上野介忠順、高山彦九郎、国定忠治といった歴史上の人物に、いつか光を当てたいという制作者たちの願いが込められています。

その思いの強さを、群馬県の象徴的な気象現象である雷と空っ風になぞらえ、特別に読み札を赤く染めました。上毛かるたの箱を開

けた時に一番上に置かれていたのは、厳しい監視への精一杯の抵抗の表れのようなのです。

群馬には関東一円の雷電神社の総本宮である板倉雷電神社があり、創建は聖徳太子によるものです。

自然豊かな境内は群馬県緑地環境保全地域に指定されています。社殿、奥宮、末社八幡宮稲荷神社からなり、社殿と奥宮は群馬県の重要文化財になっていて、末社八幡宮稲荷神社は県内最古の木造建築物として国の重要文化財に指定されています。



笠懸短歌サークル

一月例会より

亡き父は百二十歳のひのえ午大空駆けつときたま吾を見て

キーン・ガサガサ異なる音の入り込み耳道しどろが日常となる

覚え確かに置きし鉄をまた探す広くもあらぬ小屋の隅まで

正月の夜を一家で会食す十人十色の料理並べて

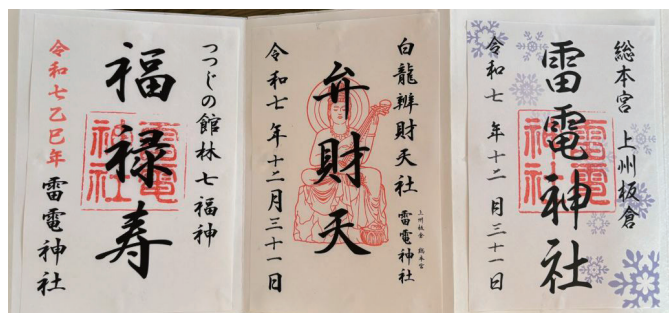


上村 征子

久保田茂子

関口 定夫

平山 勇



▲板倉雷電神社でいただける御朱印

かさかけ どうぶつ家族(25)

ヴィトンくん(2区)

犬は活動的で人と一緒に行動することが多く、『家族』の絆を強く感じる存在です。とくに大型犬は家族への愛情深く、家族を守る強い責任感を持っています。

今回取材したご夫婦もそんな大型犬の魅力に惹かれて三十数年、これまで7頭の大型犬を育ててきました。百kg近い超大型犬や3頭多頭飼いでいたこともありましたが、6代目の愛犬が亡くなると、年齢的にもこれ以上大型犬を飼うことをあきらめていました。

ところが、6代目が亡くなった後、体調を崩すほど

落ち込む奥さんを見かねた旦那さんは7代目ヴィトン(以下ヴィー)くんのお迎えを決断します。

運動や食事、しつけやトリミングなど大変そうですが、ヴィーくんがいてくれる幸せと安心感の前には何の負担も感じません。

天真爛漫で人が大好きなヴィーくんは、取材当日も大歓迎してくれました。

「ボクを撫でて！」と言わんばかりに体を摺り寄せてきます。羊のようなモフモフ感じにしばし癒されます。実はヴィーくんを迎える日を心待ちにしていた奥さんは、以前から『ルイ』という名前をずっと温めていました。偶然にも同年に生まれたお孫さんの名前に回ってしまいました。

お孫さんは今年小学校入



▲ヴィーくん

学で、ヴィーくんとは同級生です。春と一緒に並んで撮る記念写真が楽しみです。

四季の会 二月句会

庭の梅香りで気づく開花かな
あの角を曲がれば香る枝垂れ梅
喋らぶにかぢりつく妻惠方巻
空見上げ芽吹き待ちをる風の朝
夕がすみ西陽の映ゆる赤城山
春の雪赤城連山まっしろけ
ジャンボくじ又もはづれてお正月
強風にながされながら鳥帰る
さざめける星満天の賀春なり
節分の豆炒る厨よき香り
吾れと祖母同じ馬年歳をんな
厄塚に豆を投げつけ厄落とし
柁を挿したる義母に寄り添ひて
室の梅床の間に活く妻の所作
切りたての蠟梅二本持たせをり
泥かむる氷雪晩冬の旅路
節分や豆もまかづに酒を酌む
リホームも終へて早春猫五匹
寒椿咲いて一輪庭の内
枯蓮の印旛ぬま治い春寒し
からっ風の吹きさらしたる吾が狭庭
風もなく静かに流る春の川
年未年始猫をかかえて院通ひ
白内障手術が決まり春を待つ
寺の山椿一輪青竹に
春シヨールくるりと巻ひて出勤す
露のたう猫の餌場で見つけをり
やぶ椿赤く侘びしく閑寂に
デイサービスの迎えを待つ早春
宿の下駄はいて石段春の旅
菩提寺の上るきざはし沓返る
ワインの栓飛ばし早春の宴
曼荼羅の前でつまづく春の雪

- 木暮 紀珀
- 高橋 光栄
- 津 敏秋
- 牛房 祐月
- 中村 大樹
- 江原 隆鉞
- 宮本 風花
- 江原 隆鉞
- 中村 富喜女
- 泉 純佳
- 金井 麗華
- 江原 麗華
- 細川 由桂
- 櫻本 千春
- 細川 和勘
- 宇野 順雪
- 小林 狐一
- 山本 草秋
- 越塚 昇勸
- 高野 春蝶
- 金井 秀磨
- 高野 光詢
- 横倉 雅
- 楮沢 春蘭
- 糸井 梅光
- 霜中 隆鬼
- 宇野 椿
- 佐藤 由美香
- 小林 華笑
- 宇野 由希子
- 新羅 光海
- 韓 百日紅
- 宇野 勘大
- 金 光月

ちよっと一息

たまにはキッチンのテーブルではなく、こたつに入って食べたいと、ご飯を盛りつけてお盆で運んだら、すぐそばの柱にぶつけてこぼれて落ちた。見事にお茶碗が割れてご飯は散らばった。

びっくりして夫がかげより割れた茶碗の欠片を拾ってくれた。2階にいた息子もすぐ下りてきて言った。「お母さんケガしてない？大丈夫？」掃除機を手に細かくなった欠片を綺麗に片づけてくれた。文句の言葉もなく黙って片付けてくれた優しい二人に思わず「ごめんね。ありがとう」と言った。

気に入って買ったかわいい茶碗だったのに・・・と思いつつ、やっぱりキッチンテーブルで食べることにした。